

道東地域¹の金融経済概況

【全体感】

道東地域の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から弱い動きとなっている。

すなわち、公共投資は、緩やかに増加している。設備投資は、高水準で推移している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。個人消費は、一段と弱い動きとなっている。生産は、持ち直しの動きが鈍化している。労働需給は、引き締まっている。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症の拡大の帰趨、管内の経済活動全般に及ぼす影響などを注視していく必要がある。

【各 論】

1. 需要項目別動向

公共投資は、緩やかに増加している。

3月の公共工事請負金額は、前年を下回った。

設備投資は、高水準で推移している。

主要企業の設備投資は、19年度が前年を下回る計画となっているものの、20年度は前年を上回る計画となっており、総じてみると高水準で推移している。この間、農業や物流関係などでは、引き続き新規投資がみられている。

2月の建築物着工床面積は、前年を上回った。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

2月の新設住宅着工戸数は、持家は前年を下回り、貸家は前年を上回り、分譲は前年と同水準となり、全体では前年を上回った。

個人消費は、一段と弱い動きとなっている。

主要小売店の売上高（2月）は、前年を上回った。

耐久消費財をみると、乗用車新車登録台数（3月、含む軽）は、普通・小型

¹ 道東地域とは、当店の業務区域（釧路、帯広、根室の3市および釧路・十勝総合振興局、根室振興局の所管区域）を指す。

乗用車、軽乗用車ともに前年を下回り、全体としても前年を下回った。家電販売は、テレビや白物家電が前年を下回った。

旅行・観光関連をみると、主要温泉地の宿泊人数（2月）、市内ホテルの宿泊人数（2月）ともに前年を下回った。また、足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響による落ち込みが深刻化している。この間、空港乗降客数（2月）は、前年を下回った。

2. 生産

生産は、持ち直しの動きが鈍化している。

主要生産品目別（2月）にみると、乳製品は好調な生乳生産を背景に前年を上回っている。水産加工品は加工魚種によって区々の動きとなっており、全体では弱めの動きとなっている。紙・パルプ製品は前年を下回っている。

3. 雇用

労働需給は、引き締まっている。

2月の有効求人倍率は、28か月連続で前年を上回った。

4. 企業倒産

3月の企業倒産は、倒産件数、負債総額ともに前年を上回った。

5. 金融情勢

預金残高は、流動性預金を中心に増加している。

貸出残高は、前年を上回った。

貸出約定平均金利は、既往ボトム並みで推移している。

以 上